

青木のりおの

朝ごはんも
おなじみ!



青のりレポート!

AONORI REPORT

<http://aokinorio.com>

市議会報告

11月27日から12月20日まで、新議場となって初の定例会となる、令和5年第5回川崎市議会定例会が開催されました。12月6日には自民党代表質問が行われ、令和6年度予算編成方針、都市農業施策、キングスカイフロント地区や本市の地球温暖化対策について等、多岐にわたり質問しました。一部抜粋してお届けします。



代表質問 北部市場機能更新に係る基本計画案について

質問 基本計画策定に当たり、農林水産省と意見交換の場について、また国が本市場に求める役割は？

経済労働局 7月に農林水産省の卸売市場室長をお招きし、勉強会を開催したほか、10月に同室担当者との市場施設整備に関する意見交換を行った。国からは、全国的な食品物流の在り方を俯瞰した中で、北部市場の立地 特性を生かしたハブ拠点としての役割が期待されている。

用語解説 ローリング工事とは

敷地内に元からあるスペースや一部解体で生み出したスペースに建物を新設し、移転する方法。現在の敷地内で解体、新築、移転を繰り返しながら工事を終了させること

質問 工事のモデルケースでは、営業を停止することなくローリング工事を前提としているが、工程は？

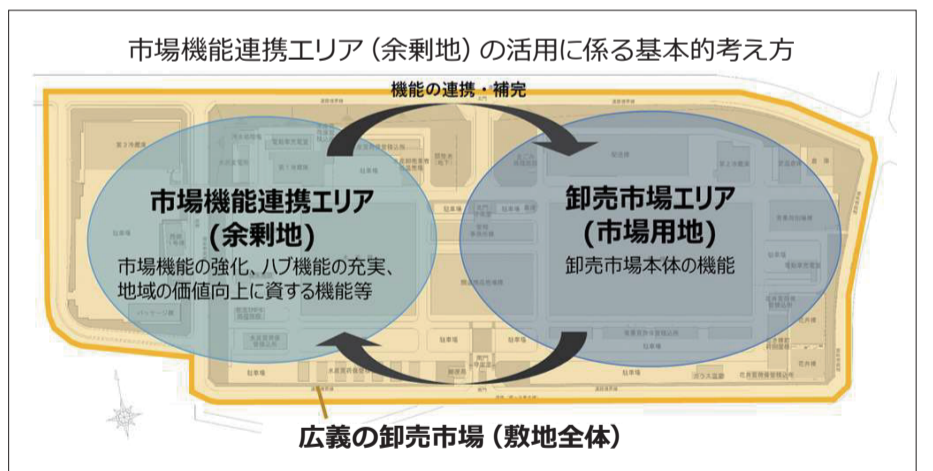
経済労働局 令和11年から新冷蔵・冷凍施設の整備を始め、令和16年から新市場棟第1期の整備を、令和17年から新市場棟第2期の整備を行い、令和19年に全棟供用を開始するとしている。今後、より一層の工期短縮が図られるよう、仮移転の縮減や効率的な工事の実施に向けた開発業者等との意見交換を引き続き行っていく。



北部市場（北部市場HPより）

質問 今回の計画で発生する余剰地の活用について具体的にどのような施設を想定しているのか

経済労働局 例えば食品スーパーのプロセスセンターや料理教室等のイベントが行える施設、食料品等の転配送施設などを想定しており、広域的食品流通の拠点及び市民に親しまれる市場化等の実現を果たすことができるような機能の導入を考えている。



両エリアを一体的な拠点とし、食品流通機能の底上げや地域と一体化した市場の活性化を図る（川崎市中央卸売市場北部市場機能更新に関わる基本計画(案)より）

代表質問 南部市場の今後の運営方針案の策定に向けた諮問の考え方について

質問 選任する臨時委員とその専門性は？場内事業者とのコミュニケーションは、諮問書にはどのように生かされるのか？

経済労働局 附属機関である南部市場運営審議会に部会を設置し、卸売市場、食品流通分野をはじめ、官民連携、建築、財務、法律の各分野の専門的知見を有する方を選任して検討を進めていきたい。今年度に入り、場内事業者と精力的な意見交換を行ったため、同部会に諮問の過程で適切に情報提供していく。

質問 旧食品衛生検査所が入居していた西側倉庫の今後の方向性は？

経済労働局 これまで場内の関係者から駐車場用地として活用したいとの要望も受けているので、南部市場敷地の有効活用の観点から除却も含めて検討している。

質問 市長自ら市場の視察を行った際の場内事業者からの意見、実感した印象、課題、ポテンシャルについて伺う

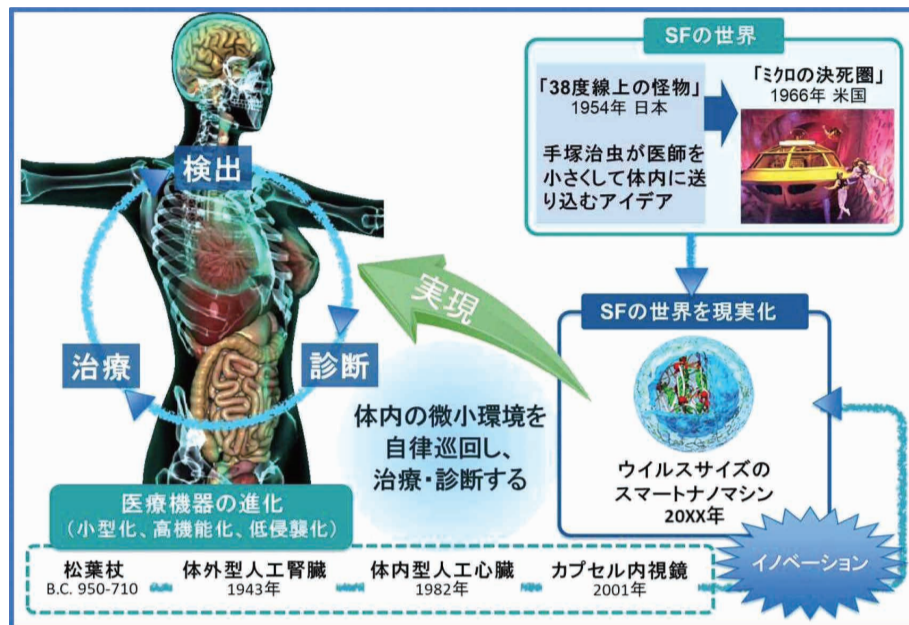
市長 場内事業者の皆様が青果、水産、花卉、関連の部門の垣根を越えて一体となって市場の在り方を考えているという思いを強く実感した。北部市場は広域的食品流通拠点として、南部市場は地域密着型食品流通拠点として、高いポテンシャルを有することを現地で改めて認識した。よりよい市場となるよう取り組んでいきたい。



南部市場 (川崎幸市場FBより)



iCONM (ナノ医療イノベーションセンター) (市HPより)



体内病院イメージ (市HPより)

ウイルスサイズのナノマシンが、体内の微小環境を自律巡回し、24時間治療・診断を行う

代表質問 キングスカイフロント地区について

質問 この地区に期待される機能や創造される価値、行政としての支援内容は?

臨海戦略国際本部 新たな産業を創出し続けるイノベーション・エコシステムの構築に向けて、研究開発から事業化や社会実装まで一貫して臨海部で取り組める基盤や仕組みづくりを進めている。さらに、京浜臨海部の持続的な発展と我が国の経済成長を牽引するオープンイノベーション拠点の形成に向けて、魅力や価値の向上が図られるよう取り組んでいく。

質問 これまでのオープンイノベーションの取組み成果と課題は?

臨海戦略国際本部 これまでも国の大型研究支援プログラムが複数採択され、難治性がんの治療法やITを活用した創薬支援システムなどの開発が進み、その成果が事業化されるなど、革新的なイノベーション創出が進んでいる。さらなる人、情報の交流を活性化させる仕組みづくりの強化や、社会実装を加速させる臨床機能との連携強化を進めていくことが課題。

質問 先日行われた臨港バスの自動運転の試行実施についての見解と課題は?



キングスカイフロントA地区 (市HPより)

自動運転バス車両イメージ (市HPより)

まちづくり局 一定の安全性が確保された運行が行われたことを確認した。今後は大型二種免許を有さずに運行できるレベル4での実装に向け、走行データやノウハウの蓄積などを進めていく必要があることから、引き続き、バス事業者や様々な関係事業者と連携し、自動運転バスの実装を目指していく。

質問 iCONMの入居状況と取組、今後期待されること、市として産官学協働での取組は?

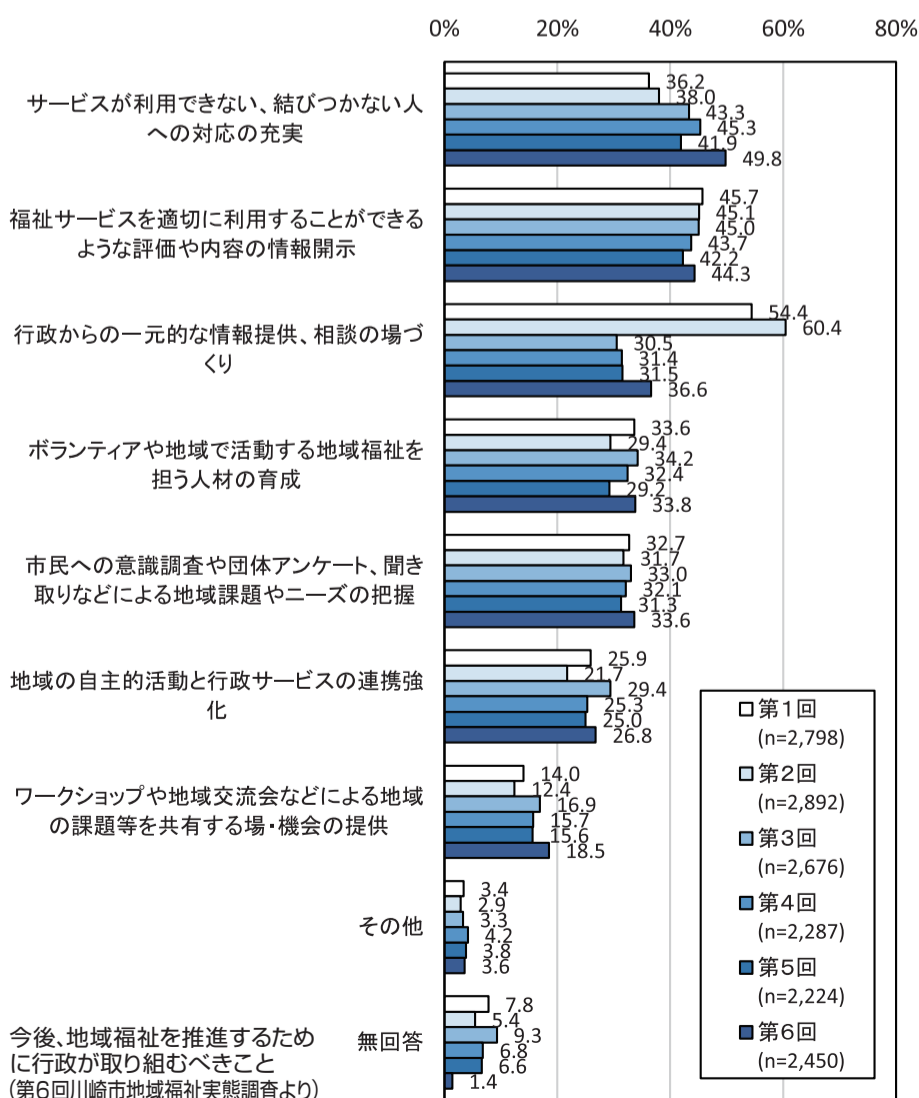
臨海戦略国際本部 令和元年度から目標値である入居率90%以上を維持している。iCONMにおける体内病院の実現のためのスマートナノマシンの開発など、難治性疾患の治療率向上や医療がもたらす患者、社会への負荷の軽減等を期待するものであり、市としても、大学や企業等の産官学協働による研究開発とその成果の実用化に向けて、研究促進に係る支援などを行っている。

代表質問 地域包括ケアシステム推進ビジョンについて

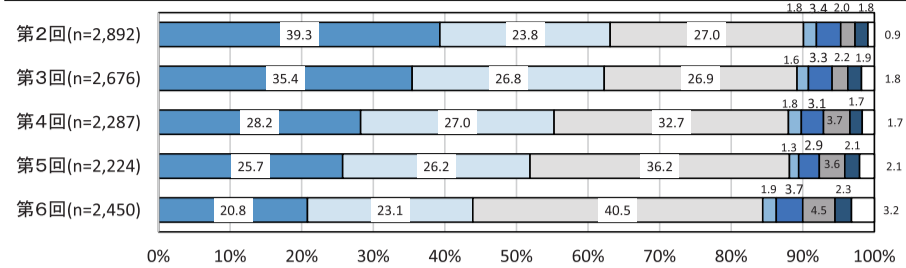
質問 近所付き合いや地域交流が必要だと思う人の割合が、減っている要因についての見解と対応は?

健康福祉局 近所づきあいについて、若い年代やふだんの近所付き合いが少ない人ほど交流は必要と回答する割合が低いことから、若い年代に対する意識づくりや地域とのつながりの機会づくりを進める必要があると考える。

質問 行政が取り組むべきこととして「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」という回答が多数だったことに対する具体的取組と見解は?



- ふだんからの交流は必要
- ふだんから交流しておいた方がよい
- 日頃の交流は面倒なのであまりしたくない
- 必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切
- 気の合った仲間やグループで交流すればよい
- 行政が支援すべきで、地域での交流は必要ない
- その他
- 無回答



近所づきあいと地域住民同士の交流の必要性(第6回川崎市地域福祉実態調査より)

健康福祉局 家族、地域社会の変容などにより、あらゆる世代の人々が様々な困難や課題に直面しており、支援に結びつかない人を地域の中で気かけ、必要な支援につながる地域づくりが重要であると考えている。今後は地域活動の支援の継続に加え、民間企業を含めた多様な主体との連携をさらに進めるとともに、福祉分野に限らず、まちづくり等の幅広い分野と一体的に施策を推進し、包括的な支援体制の充実に努めていく。



川崎市の目指す地域包括システム(川崎市地域包括システムパンフレットより)



漫画で伝える地域包括ケア(川崎市地域包括ケアシステムポータルサイトより)

代表質問 川崎市子ども文化センター及び川崎市ふれあい館の指定管理者の指定について

質問 今回の選定により、6グループにおいて指定管理者が替わることとなり、地域から心配の声が上がることも想定される。丁寧な引継ぎが重要と考えるが、見解と対応は？

子ども未来局 指定管理者が変更となった後も、利用者である一人一人の子どもの状況に寄り添った対応や、その地域の特性を踏まえた運営が重要であると考える。新旧の指定管理者の間で丁寧かつ十分な引継ぎを行うよう助言指導するとともに、市と指定管理者が連携協力しながら、子どもたちや地域の方々にとって利用しやすい、親しみの持てる施設運営に努めていきたい。



高津子ども文化センター(市HPより)

運営団体の変更			
区	施設	現在	令和6年4月1日から
中原区	住吉子ども文化センター 井田子ども文化センター	公益財団法人かわさき市民活動センター	株式会社明日葉
高津区	上作延子ども文化センター 高津子ども文化センター 二子子ども文化センター 東高津子ども文化センター	公益財団法人かわさき市民活動センター	株式会社理研キッズ
宮前区	宮崎子ども文化センター 宮前平子ども文化センター 有馬子ども文化センター 野川子ども文化センター	公益財団法人かわさき市民活動センター	株式会社明日葉
宮前区	平子ども文化センター 白幡台子ども文化センター	公益財団法人かわさき市民活動センター	特定非営利活動法人あかい屋根

代表質問 地域公共交通の今後について

質問 本市の路線バスの現状及び、デマンド交通や自動運転バス等、今後の地域交通の取組に関する考え方は？

まちづくり局 市内の路線バスの運行状況
平成30年度のピーク時と比較して、令和3年度には、運行便数が約15%減少している状況。全国的な運転手不足、若手が少ない状況、2024年問題を背景に、市内の民間バス事業者へのヒアリングにおいても、今後は厳しい状況を迎えるものと伺っている。このため、重複バス路線の改善や利用者数に応じた路線の再編など、バス路線の一層の効率化についてバス事業者等と連携した取組を行っていく。

デマンド交通・自動運転・今後の取組み
デマンド交通は、新たな交通手段の一つになると考えていることから、早期の本格運行の実現に向け、多くの市民の皆様にご存知いただくよう取り組んでいく。採算性の確保が課題となっていることから、運賃収入・企業等からの協賛や広告収入を確保するとともに、本市の支援の在り方についても検討していく。自動運転は、運転手不足に大きく寄与することが想定されることから、バス事業者や様々な関係事業者と連携した取組を進めていく。今後も、運転手不足などの環境の変化に対応し、本市の強みである都市の利便性の確保に向け、取り組んでいく。

事前に 2023年10月2日実証実験運行開始!

アプリやLINEで予約して乗る **のるこ** **KAWASAKI** **AIを使った乗合型オンデマンドバス!**

実証実験運行期間
2023年10月2日(月)~12月15日(金)
※平日・土曜日のみ運行。
日曜日・祝日は運行いたしません。

運行時間
午前8時00分~午後6時30分

運行マップ
詳しくは中面の運行マップをご確認ください。

定員 8人 **他の乗客と乗合で!**

予約制で必ず座れる! **都合の良い時間に専用の乗降場所から乗降できる!**

AIオンデマンドバスとは? 時刻表や決まった運行経路がない予約型の乗合バスです。決められたポイントの中から利用者が乗降地を選び予約を行い、AI(人工知能)がその予約に応じて効率的な運行ルートを選択します。

のるこ-KAWASAKI(市HPより)

令和6年第1回定例会
2月13日から3月18日まで開催されます。
議会中継はこちらから▶

青木のりお事務所 LINEアカウント始めました!
お友だち登録をお願い致します▶
ご登録の際にはお手数ですが、お名前をフルネームでご連絡下さい

青のりレポート絶句で下エリ
お礼のウツがいます。
御意見もお待ちしております。
青木のり

川崎市議会議員 青木のりお事務所
〒213-0029 神奈川県川崎市高津区東野川2-29-21
TEL 044-788-8899 E-mail info@aokinorio.com

令和5年第5回川崎市議会定例会12月議会ご報告

11月27日から12月20日までの24日間の会期中、令和5年川崎市議会第5回定例会が開催されました。今議会では、追加議案含めて議案38件、報告1件、意見書2件、議員提出議1件が上程されました。代表質問では、「令和5年度一般会計補正予算」、「令和6年度予算編成方針」など29項目と多岐に渡り、各取組、課題について質しました。各常任委員会での議論を経て、定例会採決日に上程された議案すべてが可決成立しました。



上：青木功雄 議長
下：野田雅之 議員

定例会の冒頭、市長から、地域経済の持続的な発展と日本におけるカーボンニュートラルの早期実現を目指し、川崎重工株式会社と連携協定を締結、川崎臨海部を中心とする大規模サプライチェーンの構築に向けた取組について説明がありました。今後、臨海部に立地する企業や海外企業のほか、東京都や大田区など近隣自治体とも、しっかり連携しながら、本市が、首都圏の大きな需要と供給をつなぐ中心拠点としての役割を果たすことで、我が国のカーボンニュートラル実現に貢献していくことが期待されます。

物価高騰の影響を受ける住民税非課税世帯へ追加支援金が給付されます

令和5年11月2日に閣議決定された経済対策にて、本年夏以降1世帯当たり3万円を目安に支援を開始してきた物価高対策のための重点支援地方交付金の「低所得世帯支援枠」を追加的に拡大し、今回、1世帯当たり7万円を追加することで、住民税非課税世帯1世帯当たり合計10万円の支援が決定しました。

- 【スケジュール】
- 令和6年1月下旬 「支給のお知らせ」「確認書」の送付
 - 令和6年2月下旬 給付金の支給開始

学校施設の更なる有効活用に向けたパブリックコメント手続きが実施されます

我が会派は以前より、市民共有の財産である学校施設の有効活用に向け、校庭や体育館はもとより、特別教室等の積極的な活用を求めてまいりました。学校施設開放の手続きは全般に渡って煩雑でアナログな仕組みであり、地域の方々がより利用しやすい、時代に即した仕組みを構築していくべきです。今年度、本市教育委員会は、民間事業者と連携し、利用手続きの簡素化や予約状況の可視化といった実証実験を行いました。実験では、実施した学校の利用者や教職員から「利用手続きや鍵の受け渡しに伴う負担が軽減された」という多くの意見やこれまで本市教育委員会事務局として把握できなかった各校の予約や利用状況が把握できるなど、各種手続きの簡素化が図られる効果が得られたとのことです。

学校施設の更なる有効活用に向けては、何よりも地域の方々が愛着を持って気軽に利用できると共に、持続可能な仕組みが必要です。本市教育委員会は、広く市民のみならずご意見をいただき、今年度中に「学校施設の更なる有効活用に向けた実施方針(案)」を取りまとめるとしています。12月11日から始まっているパブリックコメント手続きにて、みなさまのご意見をお寄せください。

新議場の開場式が執り行われました

新本庁舎が竣工し、新しい議場及び議会機能の整備が行われたことを祝するとともに、これまで先人が築かれた川崎市議会の伝統を大切に、これからも、市民に開かれた議会として、より身近に感じられる議会であることをお示すため、令和5年11月27日に議場開場式が開催されました。当日は、川崎市消防音楽隊による演奏の他、幸区のみゆき幼稚園の園児のみなさんによる心温まる合唱が披露され、新たな議場に華を添えてくれました。



本市初となる保育所と併設した児童発達支援事業所が開所しました

令和5年11月1日から、社会福祉法人厚生館福祉会が運営している認可保育所土橋宝翠保育園において、児童発達支援事業所「宝翠レインボー」が併設されました。併設する保育所と児童発達支援事業所が、一日の活動の中で、子どもと一緒に過ごす時間を持ち、それぞれの人員基準以上の保育士等が混合して支援を行う等、一体的な支援が可能になることにより、共に過ごし、互いに学び合う機会が生まれることとなります。省令改正及び条例改正により、令和5年4月から、保育所等における保育に支障が生じない場合に限り、他の社会福祉施設との併設を行う際に、特有の設備・専従の人員について、共用・兼務が可能となりました。本件は、川崎市で初めての事例です。本市は、今後も地域社会への参加・包容(インクルージョン)の考え方に立ち、障害の有無にかかわらず、全ての子どもが共に成長できる環境の実現に向けた取組を進めるとしています。

市立井田病院における連携登録医向け専用電話回線「つなぐつながるホットライン」

市立井田病院では、令和5年7月より連携登録医向け専用電話回線「つなぐつながるホットライン」を開設しました。平日は17時まで、土曜日は正午まで当日の受入れ要請に対応しており、電話対応をすべて看護師が行うものです。この取組により地域の医療機関との連携が今まで以上に強化、充実するものであり、地域がん診療連携拠点病院、結核病棟、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟などの特色を生かした地域に貢献する地域医療支援病院となることが期待されます。

キングスカイフロント「殿町」プロジェクトが完成しました

本市及び大和ハウス工業株式会社がキングスカイフロント内で開発を進めていた「殿町プロジェクト」が完成し、先月まちびらきセレモニーが開催されました。ライフサイエンス・環境分野での世界最先端の研究開発から新産業を創出する、国際戦略拠点キングスカイフロントにおいて、2014年より開発が進められていましたが、このたび、研究施設4棟、ホテルからなる「殿町プロジェクト」が完成しました。

- **キングスカイフロントとは？**
A いすゞ自動車川崎工場跡地において開発が進む、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点です。規制緩和・財政支援・税制支援などの様々な優遇制度を活用できる国家戦略特区・国際戦略総合特区・特定都市再生緊急整備地域に指定されており、健康・医療・福祉・環境をはじめとした約70機関が進出しています。
- **殿町プロジェクトとは？**
A 「殿町プロジェクト」は、医薬品や医療機器、再生医療等のライフサイエンス関連企業の研究拠点となる研究施設4棟と、世界初の「水素ホテル」である「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」からなるエリアで、キングスカイフロントで勤務する従業員や地域住民などが集いやすく交流しやすいまちづくりを進め、「殿町プロジェクト」の敷地の中心にはシンボルツリーを有した「コミュニティパーク」を設置。「殿町プロジェクト」の南北に位置する2つの公園と「コミュニティパーク」をつなぐ「プロムナード」をつくるなど、回遊性を高めました。また、敷地内には四季折々の木々を植栽し、自然と調和した環境を整備しました。さらに「殿町プロジェクト」は、キングスカイフロントと羽田空港をつなぐ新しい橋「多摩川スカイブリッジ」が2022年3月に開通したことにより、羽田空港(第3ターミナル)から車で約5分と、国内はもとより海外からもスピーディーなアクセスが可能になりました。

市長へ令和6年度予算要望書を提出

12月8日、市長に対し、自由民主党川崎市議会議員団から令和6年度予算編成に対する要望書を提出しました。要望項目は、防災対策の充実、デジタル化・手続きオンライン化の推進、都市再生に向けた施策の展開、快適で安全な都市環境整備及び市内農業の振興施策の充実、地域福祉・医療・子ども施策の拡充、市内経済の発展と中小企業・商店街活性化施策の充実、行財政改革の着実な推進に係る51項目。予算化については、令和6年2月開催予定の予算議会における代表質問等で質してまいります。

